2020 年度
一般入学試験Ⅰ期

必須科目

試験時間　9：30 〜 11：30（120 分）

1．国語　13 ページ
2．英語　7 ページ

注意事項

①試験開始の指示があるまで、問題冊子の中を見ないこと。
②問題冊子の印刷不鮮明やページの落丁・乱丁等があった場合は、手を高く挙げて監督者に知らせること。
③試験終了の指示があったら、直ちに解答をやめること。
④試験終了後、問題冊子は持ち帰ることができます。

健康科学大学
看護学部看護学科

1．国語

※国語の問題は、全 13 ページです。

国　語

1　次の文章を読んで、後の問い（**問1〜5**）に答えよ。

規範とは、通常、人間の行為や判断や評価の元となる基準・ルール・原則のことを指している。「norm」という西欧語の語源にあるラテン語の（norma）という言葉も「大工道具の物差し（直角定規）」を意味する。規範は「あるべき姿」を提示してくれる基準のことである。反自然主義は、事実と価値を対立させるのと同様に自然と規範を対立させる。規範とは自然のなかに与えられるものではなく、人間が社会的に構成したものだと強調する。

しかしながら、フランス科学哲学の泰斗（たいと）であるジョルジュ・カンギレムは、自然のなかにも規範性があると主張する。

規範性と自然の対立は、自然を機械であるかのように見なしたときにはじまる。自然が規範性を失ったのは、デカルト（注1）などの近代科学が自然から目的性を奪ったからである。以降、人間によってのみ自然に価値が与えられると仮定されてきた。

だが、カンギレムによれば、生物は機械ではなく、目的論的な存在であり、自己保存のための自己調整的な機能を備えている。生物は、さまざまな外的・内的要因による自己の状態の変化に対して、さまざまな仕方で対応して自己を維持している。

たとえば、外気温の低下に対しても、その対応の仕方は多様である。まず、血圧を上げたり身を震わせたりといった（**ア**）ソクザの生理的な反応。あるいは、暖かいところに身を隠したり、食物をとったりといった行動による対応。そして、長期的には脂肪を蓄えたり、羽毛を増やしたりするなどの身体形態的な対応がある。これらの手段によって、動物は体温を維持し、自己保存している。生物は、外の刺激に機械的に反応するだけの、単純な因果法則の雑多な寄せ集めではない。生物は、生理的・行動的・形態的反応を（**イ**）セイミョウに組み合わせて、自己を維持する目的論的構造を備えている。自己保存がうまくいっている状態を「健康」と呼ぶならば、健康とは生物にとっての規範的状態である。

哲学や倫理学の世界では、「規範的（normatif）」ということは、ある事実をある尺度に関係させて評価したり資格づけたりする判断のことを指している。たとえば、日本の一般道を百キロで走ること（事実）は、制限速度四十キロ（尺度）に照らして、規範的ではない（ルール違反である）。百キロはあるべき姿（時速四十キロ）から、はずれている。

「あるべき姿」としての規範は、生物においては自身に内在している。「生物が、傷害や、寄生虫侵入や、機能の混乱に対して病気によって応ずるという事実は、生命が自分が生きていける諸条件に無関心でないという基本的事実、および、生命には極性引力（注2）があり、したがって、価値については無意識な状況にあるという基本的事実を表わしている。要するに、生命が実際には規範的活動であるという基本的事実の表現なのだ」（G.Canguilhem『正常と病理』滝沢武久訳、法政大学出版局、1987:p.104）。

生命は規範を含んでいる。アメーバにおいてさえ生きることは選ぶことであり、拒否すること

である。もちろん、Aこの生命的な規範は、無意識的であり、無自覚的である。健康は生命の外から課されたものではなく、生命が自らの自己組織の中に宿しているものである。言葉の完全な意味で、規範的であるとは、規範を自律的に設定することである。生命は健康という自然的規範を、自らに、無意識的に設定しているのである。

しかしながら、「正常な（normal）」という言葉は両義的である。それは一方で、生物にとっての典型ないしは完全な形態という意味での評価基準を意味する。だが他方で、それは統計学的調査によって記述される事実、すなわち、ある特性に関して測定した場合に、あるグループが示す平均値（平均身長、平均血糖値など）を意味することもある。規範という概念には、生命的で自然的なそして無自覚的な規範と、社会的で人為的な、そして自覚的な規範という二重の意味が含まれている。そしてこの「正常」の二つの意味はしばしば混同され、同一視されてきたのである。

実証科学においてもこの混同が生じている。たとえば、乳幼児の月ごとの平均体重増加や、年齢ごとの平均血圧などがそうである。これらの数値がある個体にとってどのような意味をもつかについては問題にせずに、単純に平均値から大幅にずれると「異常」とされてしまう。正常と平均とを同一視するならば、個々の個体に独自のものや平均からの偏差や変異は、何であれ、失敗・欠陥・不純と見なされることになる。

ここには、自然とはつねに（ウ）カクイツ的な法則性に従う存在であり、生物種は永遠の本質を備えたグループなのだ、と考えるプラトン主義的発想（注3）が潜んでいないだろうか。世界は抽象的な本質（数学的な自然法則、絶対同一の生物種など）から構成されている、と考えたときには、生物に現れる偏差や変異は、美しい、単純で純粋な秩序に当てはまらない「逸脱」や「異常」と見なされる。平均値による説明は、生物の偏差を自然に生じた一種の（エ）ゴビュウにしてしまうのだ。

しかし進化論的に考えるならば、変異・偏差についての見解は逆転する。ある種が生育力のある種であるのは、それが多産であること、すなわち、もろもろの新奇さを産み出す点にある。生物種における形態的・機能的な偏差は、突然変異という生物進化の推進力である。変異や偏差は進化の源泉なのだ。いや、そもそも、B「種」なるものは進化論的観点に立てば、本来なら存在しないのだ。プラトン主義は、進化や発展を抑圧するイデオロギーに変わりうる。

よって、平均的であることはただちに規範的状態とは言えず、平均からずれているといってもただちに病理状態にあるとは言えない。平均からの偏差としての異常が病気に変わることもありうるが、それだけで病気だとは判断できない。平均値は、地域によっても生活様式によっても変わるものだし、年齢によっても変わるからである。奇形性はさまざまな程度において多様なかたちで存在しているが、そのすべてが病理的でも、悪しきものでもない。

ある個体が病気だと判断されるのは、他の個体と比較した統計的な偏差に基づいてなされるべきではない。病気とは、その個体の生存に有害であったり、自己保存と両立しがたかったりする状態を指すのだから、病気が病気であるのは、その個体にとっての自身の健常な形態や行動と比較することによって判明するはずである。

したがって、生物の規範性（正常性）は、つねにその個体（個人）に対して通時的に参照されなければならない。正常なものと病理的なものの境界は、多数の個体の平均値ではなく、ひとつ

の個体を時間的に連続的に追えば明らかになるだろう。ある個人は、その人が生きている限り、その人固有の身体的諸条件を用いて環境からの（**オ**）ヨウセイに応える能力をもっている。しかし、異なった身体的諸条件をもつ別の個人にとっては、同じ環境が適応に難しいかもしれない。

健康な状態とは、その個体にとっての規範的状態やふるまいがある一定の自由度、一種のゆとりや遊びを持っている状態を指している。言い換えるなら、健康状態の特徴とは、その個体の規範が相応の変異を許容しうる力をもっている点にある。「生物学的規範が存在するとすれば、それは、生命が、単に環境に従属するだけでなく固有の環境も設定するとき、まさにそのことにより、環境ばかりか有機体自体にも価値を与えるからである」（前掲『正常と病理』：p.209）

逆に、病理とは、規範（正常性）がまったく失われた状態ではなく、規範（正常性）が柔軟性を欠いて、変異を許容する力を失った状態のことである。

たとえば、体温調節にいつもの柔軟さが失われ、食物を探したり、敵に対抗したりすることができなくなってしまった動物は、厳しい環境条件や突然の環境の変化においては生命を維持することが困難となる。そうした厳しい環境や変化に晒されずにすむ保護された環境でのみ、その動物は正常を維持できるであろう。しかし、この正常さはもちろん健常なときよりも限定されているし、変異の許容力が落ちている。

あるいは、膝の結核性骨関節炎が悪化している患者は、四肢を真っ直ぐ伸ばした状態を保ちにくくなる。そうするとその人は、反射的に四肢を曲げた姿勢と伸ばした姿勢の中間の姿勢をとるようになる。そうして関節の表面への圧力を減らしているのである。関節は筋肉の痙攣に影響されながらも、能力を最大限に生かせるかたちをとる。こうした状態も一種の適応状態と呼ぶことができるが、ありとあらゆる姿勢をとることのできた以前の健康状態から比べると「不健康」とか「病理的状態」と呼ばれるだろう。**C**とれる姿勢が柔軟性を失っているからである。

以上のように、生命的自然のなかにも、自己維持としての規範性を見出すことができる。

規範性とは、各動物個体が、自分と環境との間に積極的な適応状態を確立していくための規準である。生物も環境も、それぞれ独立に取り出した場合には、「正常」とか「異常」とか言うことはできない。規範とは環境と個体の関係的な概念だからである。しかし実証主義的な考えは、各個体に固有であるはずの規範の概念のなかに、統計的な偏差しか見ようとしない。規範の正常性は、平均性と混同される。こうして規範の概念から個別性が失われる。ここにも、規範を法的なものと混同する傾向をみてとれるだろう。

（河野哲也『善悪は実在するか　アフォーダンスの倫理学』より抜粋。なお、本文中の小見出しは省略した。）

注

（注１）デカルト ――「近代哲学の祖」といわれる一七世紀フランスの哲学者。思考を本質とする精神と延長（広がり）を本質とする物体（身体）はそれぞれ独立した実体であるという物心二元論に基づいて、自然（物質的世界）を一種の自動機械として捉えた。

（注２）極性引力――極性分子の間に働く静電気的引力。

（注３）プラトン主義的発想——それぞれの事物について永遠不変の理想的な原型を想定するような考え方のこと。なお、プラトンは古代ギリシアの哲学者で、事物の永遠不変の原型をイデアと呼び、イデアこそ真の実在であって、現実の個々の事物はその不完全な模像にすぎないと説いた。

問１ 傍線部（ア）～（オ）の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選べ。解答番号は［１］～［５］。

（ア） ソクザ ［１］
① 日頃からフソクの事態に備える
② 共通の目的に向かってケッソクする
③ 精神的な欲求をジュウソクさせる
④ インフルエンザ流行のシュウソクを宣言する
⑤ 新しい時代の要求にソクオウする

（イ） セイミョウ ［２］
① 財政の不均衡をゼセイする
② テーブルに食器をセイゼンと並べる
③ 政界の事情にセイツウしている
④ 不祥事が相次ぐ現場にモウセイを促す
⑤ 事業を軌道にのせるセイサンが立つ

（ウ） カクイツ ［３］
① 苦労はカクゴのうえだ
② 分譲地は小さなクカクに分割されている
③ ライオンには百獣の王のフウカクがある
④ 両雄ともにゴカクの戦いを演じる
⑤ 創業者である父親とのカクシツに悩む

（エ） ゴビュウ ［４］
① 監督は必ず優勝すると大言ソウゴした
② 映画館はかつて代表的なゴラク施設であった
③ 追及を逃れるため自己ベンゴに終始する
④ 実験は試行サクゴの末に成功した
⑤ 共済組合はソウゴ扶助を目的とした団体である

（オ） ヨウセイ ［５］
① 事件のガイヨウについて説明する
② 住宅資金を教育費にテンヨウする
③ 暴力をヨウニンすることはできない
④ 事故の知らせにドウヨウする
⑤ 市長候補として新人をヨウリツする

問2　傍線部A「この生命的な規範は、無意識的であり、無自覚的である」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 6 。

① 生命は、外的・内的要因による自己の状態の変化に自律的に対応することができないため、自己保存という規範に従って活動せざるをえないということ。
② 生命は、自己保存という自己の外部から与えられた規範に忠実に従うかぎり健康を維持できるが、その規範に逆らったとたんに病気になるということ。
③ 生命は、自己の状態の変化に対する調整的な機能や構造をもたないため、自然の一般的な法則性に無意識的・無自覚的に従って活動しているということ。
④ 生命は、自己保存がうまくいくことを目的とし、多様な反応によって自己を維持しようとする自己調整的な機能と構造をもともと備えているということ。
⑤ 生命は、自分が生きていける諸条件に対して無関心であるため、寄生虫の侵入などによって自己調整的機能が混乱し、病気に対処できなくなるということ。

問3　傍線部B「『種』なるものは進化論的観点に立てば、本来なら存在しない」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 7 。

① 生物が統計学的な平均値を自然に志向することを生物進化の推進力とみなす観点に立てば、生物種という概念は人為的に抽象されたものにすぎないということ。
② 進化論的観点に立てば、ある生物の「典型」を示す個体は多数存在するが、ある生物種の本質を「完全」に備えた個体は一つも存在しないということ。
③ 生物における偏差を、突然変異という生物進化の推進力とみなす観点に立てば、永遠の本質を備えたものとしての生物種という概念は成立しないということ。
④ 数学的な自然法則から構成された美しく単純な秩序を想定する進化論の観点に立てば、そのような秩序から逸脱した生物種という概念は許容できないということ。
⑤ 生物種という概念は生物の理想的形態を「前提」とすることで成立するが、進化論は生物の理想的形態を生物進化の「目的」として捉えているということ。

問4　傍線部C「とれる姿勢が柔軟性を失っているからである」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 8 。

①　「健康」とは環境と無関係に自ら変異する能力をもった状態であり、「不健康」とはその能力を失い、環境に対して硬直した姿勢しかとることができない状態である。
②　「健康」とは様々な姿勢が自由にとれる状態を意味するから、「不健康」とは、身体の柔軟さが失われた結果、様々な動きができなくなり、硬直にいたる過程である。
③　「健康」とはすべての環境変化に柔軟に対応できることではないから、ある環境で姿勢が柔軟性を失ったからといって、それを「不健康」と呼ぶことはできない。
④　生物が厳しい環境に適応しようとするとき、「健康」であればゆとりをもって適応できるが、「不健康」であればそれが困難になり、ついには「病気」になってしまう。
⑤　「健康」と「不健康」の対立は環境への適応の自由度の差でしかなく、「不健康」とは、ある個体のそれまで環境に柔軟に対応できた能力が限定された状態にすぎない。

問5　本文の内容と合致するものを、次の①～⑥のうちから二つ選べ。ただし、解答の順序は問わない。解答番号は 9 ・ 10 。

①　筆者は、生物を目的論的存在として捉えるカンギレムの主張を前近代的であると批判する一方、近代の機械論的自然観も誤っていると考えている。
②　筆者は、正常なものと病理的なものとの境界は、一つの個体を時間的な経過に沿って連続的に追うことによっては明らかにならないと考えている。
③　筆者は、「あるべき姿」としての規範は、生物においては、無意識的であり無自覚的であるが、それぞれの生物の自己組織に内在していると考えている。
④　筆者は、ある個体を病気であると判断する場合、その判断は、あくまで他の個体との比較によって判明する統計的偏差に基づいてなされるべきだと考えている。
⑤　筆者は、生物が自らの機能の混乱に対して病気によって応じるという基本的事実は、生命が自分が生きていける諸条件に無関心であることを表すと考えている。
⑥　筆者は、それぞれの個体は、それぞれの環境に応じてそのつど自らの「正常」を保とうとするのであるから、「正常性」は個体ごとに異なると考えている。

2　次の文章は太田肇の随筆『「ネコ型人間」の時代　直感こそAIに勝る』の一節である。これを読んで、後の問い（**問１～６**）に答えよ。

イヌは群れで行動する習性をもつ。それに対してネコは基本的に単独行動をする。たくさんのネコがいるところでも、たまたまその場所の居心地がよいか、エサにありつくため集まっているにすぎない。リーダーが群れを引き連れて歩くわけでもない（幼い子ネコは別だが）し、そもそも固定したリーダーがいるわけでもない。

こうしてみると、ネコはチームワークに向かないように思える。しかし少なくとも人間の場合は、「ネコ型」がチームワークに向かないとはいえない。

かつての自動車工場や家電工場のような少品種大量生産の時代には、イヌぞりのようにみんな並んで一緒に作業するのがふつうだった。しかし、そのような仕事の大部分は機械やコンピューターに取って代わられた。銀行の店内でも、多くの行員が顔を並べてお金の計算をしたり、伝票を整理したりする姿はみられなくなった。

そしていま、集団で仕事をする場合には、多様な専門の人たちからなるプロジェクトチームが主流になりつつある。それは製品開発、商品企画、マーケティング、戦略策定、問題解決、イベントの企画・運営、雑誌の編集、映画や番組の制作など、さまざまな分野に及んでいる。業種によっては通常業務がすべてプロジェクトチームでおこなわれている企業もあり、今後はいっそうプロジェクトベースの仕事が増えてくると予想される。

そこに参加するのは異質な知識、能力、視点をもったメンバーであり、チームは命令—服従といったタテの関係ではなく、対等なヨコの関係で活動する。そして一つのプロジェクトが終了したらチームは解散し、仕事内容に応じた新たなメンバーでチームがつくられる。つまり自分の意志と判断で主体的に行動できる、「ネコ型」の人間でなければチームに貢献できないのである。

W自律的・主体的に行動できる人たちからなる組織は、いまの時代に合っているといえよう。

組織の（ア）盛衰は、環境にどれだけ適応できるかにかかっている。どのような組織も環境に適応しないと生き残れない。その環境は業種によって異なるし、時代によっても違う。

一般に、変化が少ない安定した環境のもとでは権限がトップに集中し、命令—服従の関係で動く機械的な組織が有効である。逆に変化が激しく不安定な環境のもとでは、権限が分散し、水平方向のコミュニケーションで動く（イ）有機的な組織が有効とされている（Burns and Stalker, 1961）。

今日のように、業種を問わず企業を取り巻く環境の変化が激しく、不安定になると、上下関係が厳格で命令—服従の関係で動くピラミッド型の組織はますます非効率になってくる。現場から離れたトップが常に、現場の状況を把握できているとはかぎらないし、現場から情報が届くのを待って判断を下していたらとても間に合わない。

現場、すなわち顧客や取引先などに近いところにいる人が自分たちで判断し、即座に対応するほうが効率的だし、顧客の多様なニーズにも的確に応えられる。また、みんなが一緒に顔を合わせていなくても、ノートパソコンやスマートフォンなどのツールを使えば必要なコミュニケー

ションはとれる。

要するに組織そのものが、前述したプロジェクトチームに近いようなスタイルになってくるわけである。そして、多様で個性的なメンバーからなる組織は危機にも強い。

そのことを例証する昆虫の世界の話（長谷川 二〇一〇）は興味深い。

アリやハチの集団の中には、巣のなかの温度やエサの糖度など、特定の刺激に対する感度が異なる個体が混じっているという。そのため危機に陥ったとき効率的に対処できる。たとえば、ちょっとした温度の変化なら、その変化に敏感な少数のハチが出てきて対処すればよいし、火事のような一大危機のときは温度の変化に鈍感なハチも反応するので、全員で対処できるわけである。

人間の組織でも、多様な個性をもつメンバーがいると、危機の種類や度合いに応じて効率的に対処できる。また多様化する顧客のニーズにも対応することが可能だ。たとえば衣料品店なら、流行を気にする客、価格を重視する客などに、それぞれ詳しい店員が応対すればよい。

近年、企業社会でもダイバーシティー&インクルージョン（多様性の受容）がうたわれている。それによって組織・集団のなかに新たな視点や刺激が入り、創造・革新を生み出す効果があると考えられている。さらに内部の（ウ）風通しをよくするとともに、組織の危機管理能力や、顧客の多様なニーズへの対応能力を高める効果も期待できるのである。

X「ネコ型」人間には、もう一つ見逃せない貢献がある。ネコが逆に、飼い主すなわち人間の社会でいえば親や上司、あるいはリーダーを育てるということである。

イヌは主（あるじ）に服従する本能があるので、それを利用して人が思うように育てることができる。エサを前にしているときも「待て」といえばがまんするし、「お手」「伏せ」などもしつけられる。ところがネコは、飼い主の思うようには動かない。**Y**その証拠に警察犬や盲導犬はいても、警察猫や盲導猫は聞いたことがない。

常に自分の意思や直感で行動するネコと暮らすには、相手が自分の思うようには動かないという前提でつき合う必要がある。コントロールされるのを極度に嫌うネコだが、一方で信頼できる人にはすり寄ってきて頭をこすりつけたり、なめたりして愛情を伝えようとする。

つまり、イヌは権力だけで育てられるが、ネコを育てるには相手の意思を尊重しなければならない。相手のすべてを包み込むような懐の深さ、人間的な器の大きさが必要になるのである。だからこそ人はネコを育てながら自分自身が成長する。

谷崎潤一郎、大佛次郎、ヘミングウェイなど文豪に愛猫家が多いことは知られているが、人間そのものを受け入れられるようでなければ、優れた小説も書けないからではなかろうか。

相手の主体性を尊重しながらよい関係をつくるという姿勢は、私たちが仕事や日常生活を送るうえで必要なだけでなく、組織のリーダーにとっても大切だ。とくにこれからの時代は、自立して主体的に行動できる「ネコ型」の人間でなければ通用しない。しかも命令や強制によって引き出せる力はたかがしれている。今日のように優れたアイデアや独創性が勝負を決めるような時代には、「イヌ扱い」しかできないリーダーは出番がなくなるだろう。

仕事やスポーツなどさまざまな領域で、かつてに比べて必要な能力と意欲の次元が上がったと理解したほうがよいかもしれない。

前述したような「直感」力や「遊び」感覚の高度なモチベーションを引き出すためには、**Z**別次元のリーダーシップが求められているわけである。実際に前章で紹介した高校野球や大学駅伝の名監督も、相手の主体性を尊重する関わりかたを学んで選手の心をつかみ、彼らの潜在能力を一〇〇パーセント引き出すことに成功した。

このようなリーダーの相手に対する接しかたは、いまはやりのリーダーシップ用語を用いるなら「サーバント・リーダーシップ」に近い。ただサーバント・リーダーシップはその名称から、リーダーがフォロワーに仕えるという上下関係の逆転を連想させる。しかし、そもそも「ネコ型」人間は主人に仕えるという意識が弱いだけでなく、自分が主人になることも望んでいない。つまり、上下ではなく対等な関係を求めているのである。

（文章の一部と本文中の小見出しを省略した。）

問1 傍線部（ア）〜（ウ）の表現の本文中の意味内容として最も適切なものを、次の各群の①〜⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は 11 〜 13 。

（ア） 盛衰 11

① 規模が大きくなったり、また小さくなったりすること
② 売り上げが伸びたり、また下がったりすること
③ 活気を帯びるようになったり、また失ったりすること
④ 社員の人数が多くなったり、また減ったりすること
⑤ 社長の権力が強くなったり、また弱くなったりすること

（イ） 有機的 12

① 組織のメンバーに服従が課され、固い絆で結ばれていること
② 組織のメンバーに服従が課され、緩くまとまっていること
③ 組織のメンバーに自由があり、固い絆で結ばれていること
④ 組織のメンバーに自由があり、緩くまとまっていること
⑤ 組織のメンバーに自由があり、まとまりがないこと

（ウ） 風通しをよくする 13

① 部下の意見が上司に全て採用されるようにする
② 上下関係ではなく水平な関係にする
③ 誰もが優しく丁重に扱われるようにする
④ 条件が良く働きやすい職場にする
⑤ 新鮮な空気がいつも吹き抜けるようにする

問2　傍線部W「自律的・主体的に行動できる人たちからなる組織は、いまの時代に合っているといえよう。」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 14 。

① 自律的・主体的に行動できる人たちが多いと、現場のニーズに効率よく対応できるので、安定して変化の少ない現代の環境にも、組織がうまく適応できる。
② 自律的・主体的に行動できる人たちが多いと、現場のニーズに効率よく対応できるので、不安定で変化の激しい現代の環境にも、組織がうまく適応できる。
③ 自律的・主体的に行動できる人たちが多いと、現場のニーズに対して自己中心的な対応が増えるが、不安定で変化の激しい現代の環境では、組織に力強いエネルギーをもたらす。
④ 自律的・主体的に行動できる人たちが多いと、現場のニーズに対して自己中心的な対応が増えるが、安定して変化の少ない現代の環境では、組織に力強いエネルギーをもたらす。
⑤ 自律的・主体的に行動できる人たちが多いと、現場で好き放題な対応が増えてしまうが、不安定で変化の激しい現代の環境では、組織のことは考えなくてもよい。

問3　傍線部X「「ネコ型」人間には、もう一つ見逃せない貢献がある。」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 15 。

① 組織にとって創造的で革新的な癒しをもたらすだけではなく、自分の意思や直感で行動する「ネコ型」人間のおかげで、組織のリーダーがこころ穏やかに仕事を進めることができる。
② 組織にとって創造的で革新的な癒しをもたらすだけではなく、自分の意思や直感で行動する「ネコ型」人間のおかげで、組織のリーダーが相手の意思を尊重する力を伸ばすことにつながる。
③ 組織の危機管理や多様なニーズへの対応力に貢献するだけではなく、自己中心的に行動する「ネコ型」人間のおかげで、組織のリーダーが相手の意思を尊重する力を伸ばすことにつながる。
④ 組織の危機管理や多様なニーズへの対応力に貢献するだけではなく、自分の意思や直感で行動する「ネコ型」人間のおかげで、組織のリーダーが自分も直感を大事にしようという向上心を持つ。
⑤ 組織の危機管理や多様なニーズへの対応力に貢献するだけではなく、自分の意思や直感で行動する「ネコ型」人間のおかげで、組織のリーダーが相手の意思を尊重する力を伸ばすことにつながる。

問４　傍線部Ｙ「その証拠に警察犬や盲導犬はいても、警察猫や盲導猫は聞いたことがない。」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は［16］。

①　イヌが持っている主人に服従する本能を利用することで、イヌを優れた警察犬や盲導犬にしつけ育てることは合理的だが、自由を好み支配を嫌うネコに対して、イヌと同じ役目を求めることは難しい。

②　イヌが持っている主人に服従する本能を利用することで、イヌを優れた警察犬や盲導犬にしつけ育てることは合理的だが、物事を覚える能力が劣るネコに対して、イヌと同じ役目を求めることは難しい。

③　イヌが持っている主人に服従する本能を利用することで、イヌを優れた警察犬や盲導犬にしつけ育てることは合理的だが、自由な行動で癒しを与えるネコに対して、イヌと同じ役目を求めることはふさわしくない。

④　イヌが持っている主人に服従する本能を利用することで、イヌを優れた警察犬や盲導犬にしつけ育てることは簡単だが、自由を好み支配を嫌うネコに対して、イヌと同じ役目ができるようしつけるまでにはかなりの時間を必要とする。

⑤　イヌが持っている主人に服従する本能を利用することで、イヌを優れた警察犬や盲導犬にしつけ育てた結果、警察犬や盲導犬の数は足りているので、自由な行動でしつけの難しいネコに対して訓練を行うことは無駄である。

問5　傍線部Z「別次元のリーダーシップが求められている」とあるが、その理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 17 。

① 変化の激しい現代の社会環境に適応するためには、組織のメンバーが自由で創造的な力を発揮できるよう、メンバーの直感力にすべてを任せるような弱いリーダーシップが求められており、権力によって服従や命令を強いる従来のリーダーシップでは時代に対応できないため。

② 変化の激しい現代の社会環境に適応するためには、組織のメンバーが自由で創造的な力を発揮できるよう、メンバーの直感力を引き出すようなリーダーシップが必要となっているが、服従や命令を用いてメンバーの管理も行える新しい方法が求められているため。

③ 変化の激しい現代の社会環境に適応するためには、組織のメンバーが自由で創造的な力を発揮できるよう、メンバーの直感力を引き出すようなリーダーシップが必要となっており、権力によって服従や命令を強いる従来のリーダーシップでは時代に対応できないため。

④ 変化の激しい現代の社会環境に適応するためには、組織のメンバーに服従や命令を強制するリーダーシップが今では犯罪であり、メンバーの直感力を活かして、次々に新しい組織を生み出していくことを促すリーダーシップが求められているため。

⑤ 変化の激しい現代の社会環境に適応するためには、組織のメンバーに服従や命令を強制するリーダーシップがこれからも必須であり、メンバーの直感力には頼らず、次々に新しい組織を生み出していくことを得意とするリーダーシップが求められているため。

問6　この随筆の主題についての説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は【18】。

① 筆者は、イヌとネコが持つ本能や特徴にはどのような差があるかを丁寧に観察することを通して、激動の現代社会の中で人間が楽しく生きていくためには何が必要かを問い、主人に従順な「イヌ」のような特徴を持つ人間ではなく、自由で遊び好きな「ネコ」のような特徴を持つ人間こそが適応的に生き残っていけると考え、これからの時代に求められる受容的で優しいリーダーシップのあり方について提言している。

② 筆者は、イヌとネコが自分の本能や特徴を生かして社会的にたくましく生きている姿に感動し、激動の現代社会の中で人間もまた生き残っていくためには、命令に素直に従う「イヌ」のような特徴を持つ人間は必要ではなくなり、誰にも縛られることのない「ネコ」のような特徴を持つ人間が増えるべきであると固く信じて、これからの時代に求められる未知なるリーダーシップのあり方について提言している。

③ 筆者は、イヌとネコには行動傾向に大きな違いがあることに着目して、激動の現代社会の中で組織がこれからも発展していくためには、従順に主人の命令を実行する「イヌ」のような特徴を持つ人間を少なくして、コントロールを嫌い主体性がしっかりした「ネコ」のような特徴を持つ人間を育成していくことが欠かせないと主張して、これからの時代に求められる力強いリーダーシップのあり方について提言している。

④ 筆者は、イヌとネコが備えている本能や特徴に根本的な違いのあることをたとえとして、激動の現代社会の中で組織と人間が生き抜くためには、従順で主体性に欠ける「イヌ」のような特徴を持つ人間ではなく、自由を好んで主体性が強い「ネコ」のような特徴を持つ人間がより活用される必要性があることを論じ、これからの時代に求められる水平で対等なリーダーシップのあり方について提言している。

⑤ 筆者は、イヌとネコでは習性に目立った違いがあることに気づき、激動の現代社会の中で組織と人間がこれまでの繁栄を維持していくためには、警察犬のように「イヌ」が持つ優れた服従の精神を受け継ぐ人間と、自由を愛して特定のリーダーを持たない「ネコ」のような特徴を持つ人間の両方が協力していくことが重要だと見なし、これからの時代に求められる柔軟なリーダーシップのあり方について提言している。

2．英語

※英語の問題は、全７ページです。

英　語

1 次の問い（**問１～５**）の会話を完成させるために、（　　　　）内に入るのに最も適当なものを下の①～④のうちから一つずつ選べ。

問１ A: What would you like for dinner?

B: I'm not sure. You can decide.

A: Pasta or sushi?

B: (　　　　　　　　　).

1

① Each will do

② Either will do

③ Any will do

④ Every will do

問２ A: I am going to fly to NY during the winter holidays.

B: I think a lot of people travel during that time, so (　　　　　　　　　) in advance.

A: Thank you for your advice.

2

① you should book your seat

② you should bring your seat

③ you should take your seat

④ you should record your seat

問３ A: Mark and I are going sky diving on Saturday.

B: Sounds great.

A: Would you like to come?

B: Isn't it dangerous?

A: No, not at all. The instructor will be with us.

B: OK, (　　　　　　　　　).

A: Good! I will make a reservation for you, too, then.

3

① I'm out

② I'm off

③ I'm up

④ I'm in

問 4 A: Sorry I'm late.

B: What happened?

A: There was heavy traffic due to an accident.

B: Well, (   ).

A: I hope you can accept my apology.

B: Don't worry. It's not your fault.

[4]

① you can't be helped ③ it would be helpful

② it can't be helped ④ you need help

問 5 A: I like your bag. It looks gorgeous.

B: Thank you.

A: Do you mind if I ask you the price?

B: No, not at all. It was on sale and cost me only 30 dollars.

A: (   ).

B: Yes, it is.

[5]

① That's too expensive ③ That's no cost

② That's needless to say ④ That's quite reasonable

2

次の問い（**問 1 ～ 10**）の [6]～[15] に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。

問 1 She had [6] any money when she was young.

① usually ② frequently ③ normaly ④ hardly

問 2 The rich are not [7] happier than the poor.

① occasionally ② sometimes ③ necessarily ④ rather

問 3 I [8] him very gentle.

① heard ② found ③ learned ④ told

問 4 The bad weather didn't stop them [9] doing their job.

① from　② on　③ of　④ in

問 5 I asked him [10] I should help him with his paper work.

① that　② what　③ if　④ because

問 6 Parents are [11] for the care and well-being of their children.

① responsible　② refused　③ responding　④ reasoning

問 7 There is [12] milk left in the refrigerator.

① few　② little　③ several　④ a couple of

問 8 [13] to the hospital, he could not attend the party.

① Taking　② Took　③ Taken　④ Take

問 9 Those [14] were present were overjoyed at the news.

① where　② when　③ what　④ who

問 10 The boy [15] to have few friends.

① sees　② chances　③ appears　④ tells

3

次の英文（**問 1 ～ 5**）の下線部①～④のうち、誤りが一箇所ある。誤りをさがし、番号で答えよ。

問 1 This is ① <u>the third</u> ② <u>more popular</u> ③ <u>book</u> in ④ <u>the best</u> sellers this year. [16]

問 2 He is preparing ① <u>to</u> ② <u>hold a meeting</u> to discuss ③ <u>about</u> problems ④ <u>with</u> his teammates. [17]

問 3 I ① <u>could not</u> agree ② <u>more</u> ③ <u>with</u> ④ <u>it has just been said</u>. [18]

問 4 I ① <u>was not</u> ② <u>be surprised</u> ③ <u>if</u> she ④ <u>changed</u> her mind. [19]

問 5 ① <u>Although</u> she expected ② <u>to</u> enjoy ③ <u>to live</u> in the country, ④ <u>in fact</u> the reverse was true. [20]

4

次の問い（**問 1 ～ 5**）について、日本文の意味に合うようにそれぞれ下の①～⑤の語句を並べ替えて空所を補い、最も適当な文を完成させよ。ただし、文頭に来るべき語も小文字で示してある。解答は [21] ～ [30] に入るものの番号のみを答えよ。

問 1 知れば知るほど必要なものは減ってゆく。

The ( ) ([21]) ( ), ([22]) ( ) you need.

① you ② the ③ know ④ more ⑤ less

問 2 彼はとても優しい男の子なのでみんな彼が好きだ。

He is ( ) ([23]) ( ) ([24]) ( ) everyone likes him.

① that ② a ③ such ④ boy ⑤ gentle

問 3 彼は速すぎて追いつけない。

He is too ( ) ([25]) ( ) ([26]) ( ).

① up ② to ③ fast ④ with ⑤ catch

問 4 彼女は足を組んで座っていた。

She ( ) ([27]) ( ) ([28]) ( ).

① crossed ② sat ③ legs ④ with ⑤ her

問 5 誰にもパスワードを知らせてはいけないよ。

( ) ([29]) ( ) ([30]) ( ).

① let ② anyone ③ know ④ don't ⑤ your password

5 次の英文を読み、問い（**問1～4**）に答えよ。なお、＊のついた単語には注がつけてある。

Demographic Changes in Japan

The population in Japan has been shrinking; the elderly population has been on the rise and the population of children has been dwindling. As a result, Japan has become the most rapidly aging society among the industrialized nations* in the world.

According to the United Nations, a nation in which those over the age of 65 years (a) exceeds 20% of the total population is called a super-aged society*. In 2006, Japan became the first super-aged nation. Two main forces are thought to be responsible for such an aging society: (　　A　　) fertility rates* and (　　B　　) life expectancy*. In 2015, the entirety of the baby boomer generation* had reached 65 years of age. Furthermore, as of October 16, 2018, 28.1% of the population was composed of people aged over 65 years old, and this ratio is expected to further increase to 40% in 2060.

In 2015, on average, one person who was over 65 was supported by 2.3 people in the working age population*(15-64 years of age). As it is estimated that one in every 2.5 people of the total of Japanese population will be 65 years old or more by 2060, each elderly person would have to be supported by 1.2 people. Meanwhile, the number of elderly people living alone has been (b) steadily increasing. In 2015, such households accounted for 11.7% of all households and the rate is anticipated to account for 17.7% in 2040.

Given the situation, it is now a serious issue as to how we will support the growing number of the elderly. The Japanese government has (c) implemented various (d) measures to deal with this. Long-term Care Insurance (LTCI)*, introduced by the Ministry of Health, Labour and Welfare (MHLW) in 2000, was one such measure. LTCI was designed to build a society in which citizens can be assured that they receive care, and are supported by the society as a whole.

Another approach involves encouraging employers to retain older workers. Although most companies maintain a system of mandatory retirement at the age of 60, it has been proposed that the limit be raised to 65. A re-employment system also has been (e) promoted. Yet another strategy focuses on the pension system*. Normally, people receive public pension* payments at the age of 65, but it is proposed that they start receiving them as early as 60 or as late as 70, with increased monthly payments, if the starting age is 65 or older.

The challenge faced by Japan, thus, is to establish a sustainable super-aged society.

NOTE: industrialized nation: 先進国　super-aged society: 超高齢化社会　fertility rate: 出生率　life expectancy: 平均余命　baby boomer generation: ベビーブーム世代（第二次大戦直後 1940 年代後半から 1960 年代初頭，出生率の高い時期に生まれた世代） working age population: 生産年齢人口　Long-term Care Insurance（LTCI）: 介護保険　pension system: 年金制度　public pension: 公的年金

Source: United Nations　Statistic Bureau of Japan

問 1　下線部の（ａ）、（ｂ）、（ｃ）、（ｅ）の意味に最も近いものをそれぞれ①～④から一つずつ選び、番号で答えよ。

（ａ） exceed　　① reach　② surpass　③ limit　④ become　　[31]

（ｂ） steadily　　① incredibly　② amazingly　③ sharply　④ consistently　　[32]

（ｃ） implement　　① create　② break　③ utilize　④ plan　　[33]

（ｅ） promote　　① decrease　② demonstrate　③ encourage　④ borrow　　[34]

問 2　文中 (d) measure(s) に一番近い日本語を下の①～④のうちから一つ選べ。　[35]

①　測定
②　方策
③　程度
④　決定

問3　文中（　A　）と（　B　）の中に入る最も適当な組み合わせを下の①～④のうちから一つ選べ。　36

① rising / longer
② declining / shorter
③ rising / shorter
④ declining / longer

問4　本文の内容に合致するものを次の①～⑧の中から三つ選び、番号で答えよ。ただし、解答の順序は問わない。　37 ・ 38 ・ 39

① 日本は世界の先進国の中で高齢化が最も早く進んでいる。
② 国連では65歳以上の人口が20パーセント未満の国家を超高齢化社会と位置付けている。
③ 日本は世界で最初に超高齢化社会となった。
④ 2015年においては一人の高齢者を3人以上の生産年齢人口で支えることができた。
⑤ 2040年には65歳以上の独り暮らしの家庭は全体の17.7％を占めるとみられている。
⑥ 介護保険制度は高齢化社会に対応するため文部科学省が施行したものである。
⑦ 退職年齢は65歳と法律で定められている。
⑧ 公的年金の受け取り開始年齢は60歳から始まり70歳までとなっている。

※このページは空白

※このページは空白